

News release

2024年3月11日

協和キリン、「健康経営優良法人 2024（ホワイト500）」認定を取得

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志）は、3月11日に経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人 2024（ホワイト500）」の認定を受けたことをお知らせします。

「健康経営優良法人」は、健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標とし顕彰する制度です。健康経営優良法人のうち、大規模法人部門の上位法人は「ホワイト500」として認定されます。協和キリンはこの認定制度の開始以来8年連続で認定されています。



協和キリングroupは、従業員とその周囲の方が、自分ごととしてワクワク感を持って Wellness Action（行動変容）に取り組む、自らの健康リスクを低減させ豊かな人生を実現することで、価値創造につながる人と組織を目指しています。具体的には、経営トップが健康宣言を発信するとともに、「協和キリングroup Wellness Action 2025」において、運動、食事、睡眠、休暇の項目について具体的な目標を設定し、一人ひとりの行動変容を促しています。

協和キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

健康経営優良法人（ホワイト500）とは

詳細については、以下の経済産業省のサイトをご覧ください。

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

健康経営とは

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されています。健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

協和キリングroupの健康経営について、詳しくは以下のサイトをご覧ください。

https://www.kyowakirin.co.jp/sustainability/human_resources_infrastructure/portfolio/workplace_safety/index.html